

UCHIDA

いい授業づくりを支援します！

ウチダの ICT支援員サービス

Go! Next Stage.

カケル **ICT**

授業が変わる未来が変わる
ウチダの教育ICT



これからの学校はこう変わる!

教育のICT化に向けた環境整備5か年計画、
これからの学習活動を支えるICT機器などの設置の考え方

ICTの不安をなくし、授業を充実させる ICT支援員が注目されています!

新学習指導要領においては、情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力などと同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記されるとともに、小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されています。

このため、文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を取りまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」を策定しました。また、このために必要な経費については、2018～2022年度まで**単年度1,805億円の地方交付税措置**を講じることとされています。

第3期教育振興基本計画で目標とされている環境水準

学習者用コンピュータ
3クラスに
1クラス分程度整備

1日1回程度、児童
生徒が1人1台環
境で学習できる環
境の実現



大型提示装置・実物投影機100%整備
各普通教室**1台**、
特別教室用として**6台**

先生方が負担なく日常的にできるよう、
常設で整備することが求められています。
併せて、指導者用コンピュータも授業を
担任する教師に1人1台整備することが
求められています。



超高速インターネット
及び無線LAN
100%整備

コンピュータ教室だけで
なく、普通教室など様々
な場所で接続できる快
適なネット環境が求め
られています。



統合型校務支援システム
100%整備

校務の効率化が期待でき、先生方の
負担が軽減します。また、教育委員会
と学校間の連絡・報告もスムーズに行
えます。



ICT支援員
4校に**1人**配置

校内でのICT活用を
サポートし、授業での
ICT利用のハードルを
下げることが期待さ
れています。また授業
内容をさらに充実さ
せる効果も!



上記のほか、学習用ツール※、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバー、校務用サーバー、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備

※ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどをはじめとする各教科などの学習活動に共通で必要なソフトウェア

ICT化に向けた環境整備によって さまざまな課題があります

困った...

環境整備が進むことで発生する課題

課題

どうICTを使うと
効果的なのか？

課題

授業中に
機器のトラブルが
起きたらどうしよう？

課題

他自治体での
事例が知りたい！

課題

機器の
メンテナンスは
だれがやるのか？



課題

導入した機器の
活用状況を知る方法
はないかな？

ウチダの
ICT支援員サービスが
解決します！

注目！

頼りにしています



おまかせください！



あらゆるお悩みを
解決します

◀◀◀ 詳しくは中面をご覧ください

ウチダのICT支援員サービスが

1. 授業支援 ～より効果的にICTを活用するために～

授業前

先生方と授業のめあてや流れ、活用のイメージを共有し、より効果的なICT活用事例をご紹介します。また、授業で使うデジタル教材の作成もご支援します。授業前の機器接続準備を行います。



Point

ウチダのICT支援員はウチダのノウハウが詰まった専用の情報共有サイトを利用しています。情報共有サイトに掲載されている全国の授業事例から先生方のご要望に沿った活用をご提案します。



授業中

授業が始まったら、先生方や子どもたちのICT機器の操作支援を行います。



授業後

授業後の後片付けを行うだけでなく、他の先生方に取り組みをご紹介しますために、実践された授業をICT活用事例としてまとめます。



Point 情報モラル授業支援



(株)内田洋行はLINE(株)と協業し、先生方がネットコミュニケーションに関する授業ができるよう、支援を行っております。LINE(株)が開発した公式教材のご提供、LINE認定インストラクターによる教育を受けたICT支援員による授業提案などを受けていただくことが可能です。また、LINE以外の情報モラル授業についても、全国さまざまな事例を基に先生方が授業を実施できるよう支援します。

(株)内田洋行はLINE(株)が実施するワークショップ授業の協業パートナーです。

いい授業づくりを支援します。

注目!

2. 環境整備 ～安心してICTを活用するために～

学校内のICT機器をストレスなく利用できるよう、環境を整えます。ICT機器の日々のメンテナンス、先生方や子どもたちがICT機器を使うための簡易マニュアルの作成、トラブルが発生した際の一次切り分けとヘルプデスクへの連絡などを行います。

日々のメンテナンス



一次切り分け

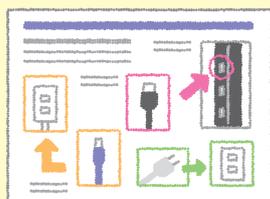


ヘルプデスクへの連絡



※別途学校ヘルプデスクの契約が必要です。

簡易マニュアルの作成



Point

自社製品だけでなく教育現場におけるさまざまな製品の活用支援を実施することが可能です。正しい知識を持って支援にあたるよう、各種メーカーとアライアンスを組み、ICT支援員への研修を実施しています。



3. 校内研修 ～教員のICT活用指導力向上のために～

夏休みなどの長期休暇には先生方を集めてICTの活用事例などを紹介する校内研修を企画・実施します。また、長期休暇の時期以外にも、先生方の空き時間を利用したマンツーマンでの個別相談会や、放課後の10分程度でできるミニレッスンなどを実施します。

校内研修の企画・実施



個別相談会の実施



4. 校務支援 ～教員の業務負担軽減のために～

ICTを活用した校務文書の作成支援、行事で使うスライドの作成支援などを行います。また、学校ホームページの更新支援や校務支援システムの操作支援も行います。

校務文書作成支援



学校ホームページの更新支援



校務支援システムの操作支援



5. 運用コーディネータ ～ICT活用を見える化するために～

ウチダのICT支援員サービスでは、地域ごとに「運用コーディネータ」を設け、ICT支援員の管理・教育を行っています。また、ICT支援員は専用の情報共有サイトに日々の活動や活用事例を報告し、学校の活用データを蓄積しています。運用コーディネータはそれらのデータやICT支援員からの日々の報告を読み取り、報告書として提出します。ウチダのICT支援員を導入することで、ICT機器が学校でどのくらい、どんなふうに使われているか、あまり使われていない学校に足りないものは何か、といったことが見える化でき、ICT環境整備計画立案にお役立ていただけます。



Point

運用コーディネータは教育情報化コーディネータの資格を持っています。報告実施時には報告書にデータを掲載するだけでなく、国の教育の情報化の方針や全国的な活用傾向なども踏まえたアドバイスもさせていただきます。

※教育情報化コーディネータ(ITCE)検定試験とは「教育情報化コーディネータ認定委員会」が実施する、学校や高等教育機関など教育の情報化をコーディネートできる人材を認定する制度です。



ウチダのICT支援員サービスは 10年以上 累計5,000校以上に

ご提供してきたサービスです。これら業務で得たノウハウをデータで蓄積し、データを基にICT支援員の運用・教育を行っておりますので、安心してお任せいただけます。

お客様の声



守谷市立守谷小学校

守谷市では2016年に児童生徒3.6人に対し1台タブレットPCを導入。ICT支援員は市全体(13校)で2名配置されており、各校を巡回訪問しています。

ウチダのICT支援員さんは、トラブル時の対応だけでなく、「タブレットPCを使ってこんな授業をやってみたい」という先生方の要望を実現するために、ICT活用授業の提案をしてくれています。こうした提案が無ければ、守谷市の活用はここまで進んでいないと思います。また、授業中には操作の苦手な子どもの支援に入っているため、先生方は機器のトラブルや使い方にとらわれることなく、「授業の進行」という本来の業務に集中することができています。子どもへの対応も丁寧で、きめ細やかな支援をいただいているので、先生方からの評判も非常に良いです。先生方は、ICT支援員さんが学校に来てくれる日を心待ちにしています。教育の情報化においてICT支援員さんはなくてはならない存在です。

茨城県 守谷市立守谷小学校 吉田 克也 副校長



学校法人開成学園 大宮開成中学校

大宮開成中学校では2017年からタブレットPC40台を導入し、毎週土曜日、中学2年生のオンライン英会話の授業で活用しています。ICT支援員はオンライン英会話の授業がある日に合わせて訪問しています。

本校では、本格的にICTを活用する授業としては初めての取り組みであったため、オンライン英会話におけるタブレットPCの活用には技術的に心配な面がありました。しかし事前に運用コーディネータさんや支援員さんと当日の流れや想定しておいた方がいいことについて確認することができたので、大変ありがたかったです。また、支援員さんが授業前のタブレットPCを立ち上げ、講師事務局への欠席者連絡、授業中のトラブル対応などをしてくれているので、教員は生徒への学習・生活指導に集中できています。

新しい取り組みを始める時というのは、どんなトラブルが起きるか予想がつかません。そんな中で、ノウハウに基づいた支援があるということは、学校にとって大きな助けになります。ですので、これからICT環境の導入を考えている学校は、教員だけで何とかしようとするのではなく、ICT支援員さんに頼ってみるのもいいのではないかな、と思います。

埼玉県 大宮開成中学校 安田 賢哉 教諭



その他運用支援サービスのご紹介

教員研修サービス

ウチダ研修サービスは長年にわたって学校教育の現場をサポートしてきました。これらの経験からICT機器の効果的な利活用や授業デザイン力の向上を目指した教員向けの研修を数多くご提供しております。今学校で求められる研修は、単一のスキルの習得ではなく、多様な知識やスキルを複合的に学び、授業の中でどう活かしていくのかを考える研修が重要です。また教員向け研修と併せて保護者向けの情報モラル研修などもご提供しております。操作習得から活用まで、ご要望に応じた研修内容を学校ご担当者と相談しながら計画し、導入環境が有効に活用されるよう、ご支援します。

■ 主な教員向け研修メニュー

1	タブレットPC活用コース Windows編	5	「プログラミング的思考」を育むための実践ワークショップ
2	タブレットPC活用コース iPad編	6	全国学力・学習状況調査 調査結果分析ワークショップ
3	タブレットPC活用コース Chromebook&G Suite for Education編	7	Intel® Teach Elementsプロジェクト型アプローチ
4	「教育の情報化」に向けた情報モラル&情報セキュリティ研修	8	教員のための「7つの習慣®」

Point

複数のOSに対応したタブレットPC活用研修

ウチダ研修サービスはマイクロソフトをはじめ、インテル、アップル、Googleなど海外主要メーカーとの協業を通じ、確かな内容と品質の研修を提供しております。Windows、iOS、Chromeの3つのOSに対応したタブレットPCの活用研修を提供しており、また他社で導入した環境下での研修も可能です。導入前、導入後の研修はもとより、導入から一定期間経過した場合でも、より活用の促進が図れるよう、最新のOSやアプリケーションの情報、活用事例などを交えた内容をご提供します。



保護者向けガイダンス

教職員のみならず、保護者向けにもガイダンスを行います。 (例) ● 導入ガイダンス ● 情報モラルガイダンス

上記以外にも導入研修や操作研修など、ご要望に応じて様々な研修コースに対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

学校ヘルプデスクサービス

学校内ICT機器全般を対象とした「教職員向け支援サービス」です。学校内のICT化の悩みを解決し、ICT環境を「安全・安心」に利用するお手伝いをいたします。お問い合わせに関して、ワンストップサービスで受付・切り分け・回答・手配(部品・技術者)を行い、「困った」に対応いたします。



- 電話
- FAX
- E-mail



標準サービス

- 障害および不具合に関するお問い合わせ
- 操作に関するお問い合わせ
- ICT機器全般に関わる相談
- お問い合わせ履歴報告
- 技術者の派遣

インストラクター/ICT支援員/システムエンジニア/カスタムエンジニア問題に対して、必要であれば適切な技術者を派遣してサポートいたします。



「いい学校・いい教育・いい授業づくり」を支援します。

<http://school.uchida.co.jp/>

ご用命は信頼ある……

内田洋行

東京	〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25	☎ 03(5634)6402
大阪	〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2	☎ 06(6920)2641
札幌	〒060-0031 札幌市中央区北1条東4丁目1-1	☎ 011(214)8630
仙台	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-4-22 仙台東口ビル6F	☎ 022(292)2783
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-2 名古屋丸紅ビル13F	☎ 052(222)7234
福岡	〒810-0041 福岡市中央区大名2-9-27	☎ 092(735)6240

*当カタログ掲載内容(仕様、価格等)は諸般の事情により予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。